

あなたがたがあげなさい

(マルコ6・30〜44)

一、人は渴いている

30節をご覧ください。さて、使徒たちはイエスのもとに集まり、自分たちがしたことを、残らずイエスに報告した。とあります。この時弟子たちは、それなりに疲れていたと思われまふ。31節にこう書かれています。「さて、あなたがただけで、寂しいところへ行つて、しばらく休みなさい。」出入りする人が多くて、食事をする時間さえなかったからである。と。またマルコの解説文によれば、弟子たちがイエス様のもとに帰ってきたものの、食事をする時間もなかったと読めます。すなわち、弟子たちは空腹だったと思われまふ。そして、一同は舟に乗って人里離れた所に向かいました。32節です。

《彼らは、自分たちだけで舟に乗り、寂しいところに行った。》とあります。《彼らは》とは、34節の《イエスは舟から上がつて》より、主イエスも一緒に上ったことが分かります。

さて、イエスさまを追いかけていた群衆は、とても飢え渴いている人たちでした。もちろん群衆でしたから、面白半分に追いかけている人々もいたでし

ようし、病気を治してもらいたいとして追い求めていた方々もいたでしょうし、メシアかもしれないと思っていた人々もいたことでありましよう。中には、やる事がなくてイエスさまのあとについて行った人たちも、いたかも知れませぬ。群衆とは、その程度の人たちです。その群衆の行動です。33節をご覧ください。《ところが、多くの人が、彼らが出て行くのを見てそれと気づき、どの町からもそこへ徒歩で駆けつけて、彼らよりも先に着いた。》とあります。この、おそらく「烏合の衆」とも言える人々たちを、主イエス・キリストはどのように見られたのでしょうか。34節です。《イエスは舟から上がつて、大勢の群衆を、見になった。彼らが羊飼いのいない羊の群れのように見られたので、イエスは彼らを深くあわれみ、多くのことを教え始められた。》とあります。神の子イエスさまは、《彼らが羊飼いのいない羊の群れのように見られたのです。しかも、《彼らを深くあわれ》まれた、のです。ちなみに、「あわれむ」とは「内臓が動かされる」という意味のことばです。

群衆は聖書のことばに、すなわち神の口から出る一つ一つのことばに養われていませんでした。群衆はユダヤ人でしたから、神を知っていました。ですが、まことの牧者に養われていない状態でした。人間は、ひと度そうなつてし

まいますと、すなわち自分が本来のあべき姿でない状態になってしまひますと、それに気がつかないものです。そういうわけで、気がついてるか否かは別にして、すべての人は神の前に渴いていると言えます。

二、空腹を満たすのは誰か

弟子たちは、おそらく空腹でした。群衆も空腹でした。そこで、弟子たちはイエスさまに言いました。35節、36節です。《そのうちに、すでに遅い時刻になったので、弟子たちはイエスのところに来て言った。『ここは人里離れたところで、もう遅い時刻になりました。皆を解散させてください。そうすれば、周りの里や村に行つて、自分たちで食べる物を買つことができるでしょう。』》と。きわめて順当な判断です。

ところが、主イエス・キリストはおっしゃいました。37節の前半です。《すると、イエスは答へられた。『あなたがたが、あの人たちに食べる物をあげなさい。』》と。こう語つてから主イエスは、五つのパンと二匹の魚を裂き、人々に配るように弟子たちに渡され、パンと魚が増えて、男の数で五千人の人々が食べて満腹するという奇跡を行われました。ですが、主イエス・キリストが弟子たちに最初に語られたことばは、**「あなたがたが、あの人たちに食べる物をあげなさい」**でした。

主イエスは、何を弟子たちに教えようとしたのでしょうか。キリストは、何を教会に教えようとしたのでしょうか。それは、人々の霊的な空腹を満たすのはあなたがたである、ということなのです。多くの方が、華やかさの背後で、渴いています。その渴きをいやすのはあなたがたである、と教会に語られました。こんなことを語つたら、「私は自分のことだけでも精一杯なのに、人の渴きをいやすことなどできませんし、そのような能力も、技量も、経済力もありません」と思われるかもしれませぬ。ですが皆さま。聖霊に満たされたペテロが、神殿で、生まれつき足の不自由な人から施しを求められた際に何を語つたのでしょうか。《使徒3・6すると、ペテロは言った。『金銀は私にはない。しかし、私にあるものをあげよう。ナザレのイエス・キリストの名によって立ち上がり、歩きなさい。』と語りました。私たちの渴きをいやし、立ち上がらせてくださるのは、生けるイエス・キリストです。自分の内におられるキリストが、まず私の渴きをいやし、自分と出会う方々の渴きをいやし、空腹を満たされるのです。主イエスは、**「あなたがたが、あの人たちに食べる物をあげなさい」**とおっしゃいました。私という、土の器の内におられるキリストが、人をいやします。